



### 【DTP】

競技課題は、「地域のイベント【お花見】」の告知チラシの制作でした。

DTPとは、PCを活用して印刷物のデータを作成することです。印刷物は文字や画像の間違があると内容によっては、印刷のやり直しが生じることもあり、印刷部数が多いと大きな損害が発生します。DTPを仕事として行うには前提として持って頂きたい知識がありますので、再確認をして欲しいと感じました。

今回は、【お花見】の告知チラシで春を感じさせてもらえる作品を期待しました。

今回も、テキストを少なく、写真・画像を多く支給しましたが、写真・画像・テキストの配置や体裁に工夫が不足していると感じました。

地図の扱いも支給画像のまま貼り付けされたように思います。

仕上がりデータDTP作業は、データ納品が基本となります。今後もレベルの向上を期待しています。

### 【表計算】

表計算の競技に出場いたしました選手の皆様、関係者の皆様、お疲れさまでした。

今回の表計算の課題につきましては、【課題1】交通費精算書を作成する課題で、罫線の設定やフォントの変更などの文字の修飾を行う課題でした。課題1に関して、皆さんは日頃職場などで行っているようで、大変よくできていました。

【課題2】は、課題1で作成した交通費精算書に、計算式や関数を使って精算書を完成させる課題になりました。この問題で使用した関数で、競技者が表計算ソフトをどれだけ利用しているかで得点に差が出たと思います。表計算に用意されている関数式は、多種多様なものがあり、よく使用している関数は覚えていても、あまり使用していない関数は忘れていたという状況でした。


【課題3】に関しては、今までの課題のように、課題の素材があり、それを設問に従って文字の修飾や計算式を入れていくという課題ではなく、サイズA4の用紙に、「見やすい」ように、トーナメント表と対戦表を作成するという見栄えに重点を置いた「デザイン」を求める課題にしました。なにもない白い用紙に、バランスよく見やすい表を作成していくのは大変な作業だったと思いますが、このように一から作成していく仕事もできないといけませんので、しっかりと勉強・仕事で身につけていきましょう。

今回の表計算の競技者の皆さんは、大変よくできました。順位をつけさせていただきましたが、わずかな点数の差でした。

限られた時間内で手際よく効率的に作業を行っていくということが重要なことですので、今後しっかりと勉強として行ってほしいと思います。

今回使用しましたExcelのバージョンは2019でしたが、すでに、次のバージョンが出ており、新機能や新しい関数などが出ていますので、それに関しても勉強していきましょう。

今回の大会におきまして、大会スタッフの方々をはじめ、関係者の方々のご尽力により、無事終了しましたことを深く感謝いたしております。今後の選手の方々の仕事や勉学の頑張りを期待しております。





### 【ビルクリーニング】

2024年2月10日アビリンピック京都大会が京都府立京都障害者高等技術専門校で開催され、ビルクリーニング競技に於いては4年ぶりに広い体育館が競技会場となりました。

大勢の観客が見守る中、6団体13名の選手は日頃の練習の成果をいかに発揮し、今まで以上に甲乙つけ難いレベルの高い競技内容でした。

金賞を獲得された船越さんは、特に『カーペット床清掃』課題で素晴らしい技術とタイムで完成度の高いパフォーマンスでした。銀賞の竹内さんは『弾性床清掃と机上清掃』課題でミスのないパフォーマンスで完成度の高い内容でした。銅賞の杉原さんは緊張の為か、僅かなミスが重なり銅賞になりましたが、あともう少し練習すれば十分に全国で通用すると感じました。惜しくも入賞を逃した選手も、素晴らしい競技内容でした。

毎年専門委員として競技を採点しておりますが、予選会でのレベルとしては、京都はずば抜けていると思います。全国大会に後数名出したい位です。

11月アビリンピック全国大会が愛知県でございます。最優秀賞 船越さん全国1位に向けて頑張ってください。

### 【喫茶サービス】

喫茶サービスの選手の皆さん、競技は充分楽しめましたか？

今年の大会は、皆さんが競技内容をよく理解して取り組んでおられたため全体にレベルが高く、規定競技では減点ポイントを探すのに審査員は苦労しました。

サービスの基本動作を理解して笑顔に努める事など、接客のベースは「お客様の立場で考えてみる」ことです。普段の生活でお店を利用したときに体験した気持ちの良いサービス、気持ちの良い一言を「心に留め置くことができる人」は温かい接客ができます。従来どおり規定競技の観点はこういった基礎がポイントとなりました。

そして自由競技です。

喫茶のサービスは個人プレーではありません。スタッフが一つのチームとなってお客様をお迎えし、飲み物を提供し、お客様をお見送りして初めて成り立つものです。一人のサービスがいくら素晴らしいものであってもそのお店は評価されません。

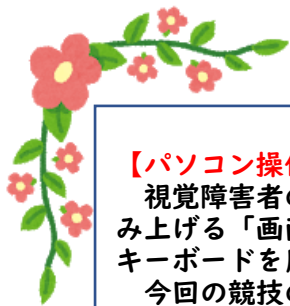
今回の自由競技はこのチームプレーを考えて行動しているかを観点に入れましたが、作業中に「私が〇〇をやります」「お願いします」と、お互いに積極的に声を掛け合って連携したサービスを続けている光景が随所で見受けられ、自ら考えて動ける選手が多かったことも特筆すべきことでした。

毎回のサービスに素直に向き合い、自信を持って笑顔でサービスを楽しむことです。皆さんはこれからも自分が飲食店を利用した際に、サービスの「観察」をしてみてください。良い、悪いだけでなくサービスの工夫のヒントがあるかも知れません。

ステキなサービスをありがとうございました。

最後に今回のアビリンピック大会の準備、実行に関わられたスタッフの皆さんのご協力に重ねて感謝いたします。貴重な時間をありがとうございました。今後ともよろしく継続をお願い申し上げます。





### 【パソコン操作】

視覚障害者のパソコン操作の特徴は、画面内に入力されている文字やキーボードを用いて入力した文字、選択しているメニュー項目の名前などを読み上げる「画面読み上げソフト」、これらの文字などを大きく表示する「拡大ソフト」を活用しながら、マウス操作ではなく、主にショートカットなどキーボードを用いて操作することです。

今回の競技の課題は大きく2つで、ひとつは表計算ソフトを使った課題、もうひとつはインターネット検索です。

表計算ソフトを使った課題は、22年度の社員名簿をもとに、追加や削除などの変更を加え、23年度版の社員名簿を完成させ、更にそれをもとに集計していくという内容でした。

変更箇所は、別に用意されたテキストファイルを確認しながらの作業で、晴眼者にとってはごく基本的な内容ですが、ファイル内の全体像がすぐに把握できない視覚障害者にとっては、集中力を要する内容でした。その後の集計についての課題は、基本的な関数を用いての内容ではありましたが、集計対象となるセル範囲を、瞬時に確認できるわけではないので、どのように効率的に作業していくかが問われる内容ではありました。

インターネット検索は、京都府内における世界文化遺産に関する課題で、ページに、正確に早くアクセスできるか、そのページ内で適切な個所を探すことができるかがポイントでした。

関数の記述内容や、検索問題での適切な解答から、参加された選手の技能や努力を感じることができました。今後一人でも多くの視覚障害者が、パソコンのスキルを活かして就労していくためには、本人のたゆまぬ努力はもちろんのことですが、訓練や指導を受けることができる場の確保などと合わせて、一緒に働く晴眼者が、視覚障害者が効率的にパソコン作業ができるように、どのように確認しやすいデータを提供、共有していくかも大きな課題であることを、改めて感じることができました。

### 【紙箱組立（貼り箱）】

第1回から審査員として参加させていただいて21回目の大会となりました。

競技は京都ならではの紙箱を繰り返し同じ工程で商品として使える品質のものを作り続ける作業で、糊の量や刷毛の塗り具合で仕上がりが変わってきます。

今回の出場者全員が城陽専門校の修了生です。一年間の訓練を経て修了しそれぞれ違う仕事に従事していますが、毎年大会出場を楽しみにしてくれていて、校で学んだことを忘れずさらに向上を目指して参加してくれたことを元指導員としてとても嬉しく思います。

今回参加してくれたみんなにはこれからもそれぞれの仕事の場において活躍してくれることを期待しています。

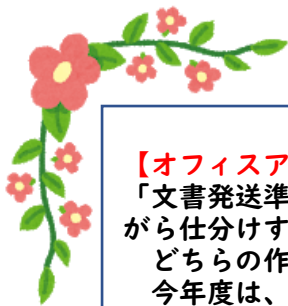
### 【ホームページ作成】

2024年のアビリンピック、ホームページ作成部門の参加者は3名でした。

たまたま2023年の参加者の制作物のレベルが高かったのですが、今年の3名は、昨年を除く例年に比べると、高いレベルの制作物でした。

とくに1名は2023年の参加者の方に匹敵する力量といえるものでした。





### 【オフィスアシスタント】

「文書発送準備作業」と「郵便物仕分け作業」の2課題で実施しました。「印刷不良は取り除く」「折りずれやシワが出ないように注意する」「リストを見ながら仕分けする」などどちらも正確かつ丁寧な作業に加えて、スピードも求められる競技です。

どちらの作業もどのような順序で行えば正確に効率よく作業を進めていけるかを考えて、選手の皆さんがそれぞれ工夫されていたことが印象的でした。

今年度は、全国アビリンピック大会の競技に合わせて「文書発送作業」ではCDの封入作業を追加しました。より細かな作業が必要となったため、封入が完了しているにもかかわらず、CDケースの切込み部分が裂けたことで減点となった成果物が多く散見されました。封入の速さに加えてより丁寧な作業をしていただければと思います。

当日は、緊張感の中、皆さん集中して精一杯取り組まれており、競技結果は、金賞1名、銀賞1名、銅賞1名、努力賞1名となりました。

参加選手の皆様には、今後も引き続き作業の正確さやスピードを磨いていっていただきたいと思います。

### 【ワードプロセッサ】

今回の競技課題は大きく和文課題と英文課題に分けられ、イベントの広報資料や説明資料の作成を課題としました。

和文課題の文章入力については、皆さん日頃から練習されている成果もありよくできていたと思います。英文課題の文章入力については和文ほど入りに慣れていない印象を受けましたので、和文だけでなく英文の入力にも慣れ親しんでおくとういでしょう。

また、課題の作成には文章を入力するだけでなく、図形や画像を入力するスキルや段組みやインデント等を使用してレイアウトを設定するスキルが求められます。全体的にそれら様式の設定に大幅に時間がかかっている印象があったため、普段あまり使用しない書式の設定や、効率の良い設定順序について確認し、全体の作業時間を意識した練習に取り組むことが肝要と思います。今後の更なるレベルアップを期待しています。

改善点もあるかと思いますが、皆さん慣れない環境下、限られた時間の中で精一杯頑張られたことと思います。大変お疲れさまでした

### 【パソコンデータ入力】

課題は「アンケート入力」「文書修正」「帳票作成」の3種類で実施しました。

「アンケート入力」は、少し入力数が少なかったように思います。競技に慣れていない方がおられたことも要因の一つですが、ブラインドタッチができていない方も多かったように思います。「読む」→「暗記する」→「入力する」というのではなく、「読みながら入力」ができるともっと早く入力することができると思います。

「文書修正」も同様に、修正数が少なかったと思います。

当日にもお話いただきましたが、入力速度を上げるためには読む速度を上げる必要があります。そのためには日ごろから読書が必要だと思います。

「帳票作成」は、指示を見ながらの作成ではなく、課題見本を見て作成されておられる方が見られました。よって、指示どおりの計算ができていない人がおられました。

作成方法としては、指示を見ながら課題作成を行う練習をすれば、効率よく課題が作成できると思います。

各課題の結果を見ると、得意不得意の部分がはっきりと分かれていたように思います。

今後は、この競技が業務などでも生かせるように入力の正確性、スピード、ミスを見逃さないスキルを身につけていってください。

